

第23回日本運動生理学会大会

スポーツ科学と実践の融合を目指して

2015年7月25、26日

会場：日本体育大学 東京・世田谷キャンパス

主催：日本運動生理学会

共催：学校法人日本体育大学

25日
土

大会長講演 (8:30-9:30)

「2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける運動生理学の役割」

清田 寛 (日本体育大学)

招待講演 (9:30-10:30)

「細胞内 Ca^{2+} による筋収縮制御」栗原 敏 (学校法人 慈恵大学 理事長)

教育講演 I (10:30-11:30)

「骨格筋電気刺激トレーニングの基礎と応用」森谷 敏夫 (京都大学)

教育講演 II (13:30-14:30)

「運動の臨床神経生理学」柿木 隆介 (自然科学研究機構 生理学研究所)

一般口頭発表 (11:30-12:30, 15:30-16:30)

シンポジウム (16:30-18:00)

「運動現象の機能協調性研究の最前線」

「呼吸・循環系基礎研究者の応用科学への試み：提言」

一般ポスター発表 (18:00-18:45)

懇親会 (19:00-20:00)

26日
日

教育講演 III (8:30-9:30)

「ヒト骨格筋の科学と実践の融合に向けて

～亡き恩師 Bengt Saltin 教授からの学び～」水野 眞佐夫 (北海道大学)

第23回日本運動生理学会大会テーマ企画 (9:30-11:00)

「スポーツ科学と実践の融合を目指して」西山 哲成 (日本体育大学) 他

特別公開講演 (13:00-14:00)

「古代オリンピックと近代オリンピックについて」

松浪 健四郎 (学校法人 日本体育大学 理事長)

一般口頭発表 (11:00-12:00, 14:00-15:00)

シンポジウム (15:00-16:30)

「身体トレーニングと骨格筋適応の最前線」

「子どもの心身を蝕む肥満 - その原因と対策を考える -」

第23回日本運動生理学会 授賞式 (16:30-17:00)

閉会

問い合わせ先

東京都世田谷区深沢 7-1-1

日本体育大学

運動生理学研究室

ep2015@nittai.ac.jp

03-5706-0821

大会ホームページ

<http://www.jsesp2015.jp/>